

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400037
事業所名	グループホームほほえみ犬山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域ボランティアの訪問の際は、音楽療法でハンドベルの演奏、体験を利用者が行い若い頃の馴染みの曲目を演奏し盛り上がり有意義な時間を共有している。地元の小学校・中学校・高校生らの交流も定期的に行っており、認知症への理解を深める活動となっている。同一敷地内の医療機関に「ほほえみだより」を掲示し存在や実情を周知する取り組みを行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	定期的に年6回開催している。メンバーには市役所長寿社会課担当者、家族、利用者、職員等が参加して活動状況の報告や質問、提案、助言等をしている。また、議題を毎回決めて「災害時の対応」として消防署員の講話など、知識や心構えについて話し合いが持たれている。家族の参加が多く、家族同士の交流も自然に行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	地域包括支援センター、市役所長寿社会課の担当者へは運営推進会議の議事録やホーム便りを届け、ホームの状況や利用者の暮らしぶりを伝え、双方が相談や情報交換を行っている。市消防署からAED講習や避難訓練時の指導等を受け、より安全な対策が図れるように考えている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族には面会時に意見や要望を伝えている。出された意見や要望は会議や申し送りの際に検討し、問題解決に努め、サービスに反映するようにしている。内容によっては家族に報告をしている。毎月「ほほえみだより」を発行しイベント、季節の行事や日々の様子を分かり易く伝えている。運営推進会議の中でも提案や要望等の質疑応答をし、各家族へ議事録の配布をしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	×	○				